

科目名	業務用語 1							年度	2025
英語科目名	Duties term 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	星野虎之助	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師（接骨院にて勤務経験あり）		
【科目の目的】 患者とのコミュニケーションを取るためにも必要な医療全般で用いられる専門用語を理解することを目的とする。									
【科目の概要】 業務上必要な各用語について学びます。									
【到達目標】 医学領域において、使用頻度の高い基本的な用語や患者さんとの会話に使いやすい時事に絡む医事用語、解剖学・運動学の用語から、診療情報の伝達に頻繁に用いられる病名や症状、治療方法や手術方法、検査名など臨床用語まで、日本語、英語名、ギリシャ語或いはラテン語およびそれら用語の略語を理解し、他の医学系科目の講義での専門用語を導入した講義にスムーズに参加できることを目標とする。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	症状や主訴・不定愁訴などの用語について完全に理解している。	症状や主訴・不定愁訴などの用語について大 体理解している	症状や主訴・不定愁訴 などの用語について部 分的に理解している。	症状や主訴・不定愁訴 などの用語についての 理解がやや不足してい る。	症状や主訴・不定愁訴 などの用語について理 解していない。				
到達目標 B	拘縮や萎縮の意味につ いて完全に理解してい る。	拘縮や萎縮の意味につ いて大 体理解している	拘縮や萎縮の意味につ いて部分的に理解して いる。	拘縮や萎縮の意味につ いての理解がやや不足 している。	拘縮や萎縮の意味につ いて理解していない。				
到達目標 C	解剖学用語の意義につ いて完全に理解してい る。	解剖学用語の意義につ いて大 体理解している	解剖学用語の意義につ いて部分的に理解して いる。	解剖学用語の意義につ いての理解がやや不足 している。	解剖学用語の意義につ いて理解していない。				
到達目標 D	消化器や呼吸器につい て完全に理解してい る。	消化器や呼吸器につい て大 体理解している	消化器や呼吸器につい て部分的に理解してい る。	消化器や呼吸器につい ての理解がやや不足し ている。	消化器や呼吸器につい て理解していない。				
到達目標 E	循環器系とそれに伴う 必要な用語について完 全に理解している。	循環器系とそれに伴う 必要な用語について大 体理解している	循環器系とそれに伴う 必要な用語について部 分的に理解している。	循環器系とそれに伴う 必要な用語についての 理解がやや不足してい る。	循環器系とそれに伴う 必要な用語について理 解していない。				
【教科書】 毎回配布するテーマに沿ったプリントに準拠する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		業務用語 1			年度	2025
英語表記		Duties term 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	医療現場で使われる用語の必要性を理解する	1 病院等	医師や看護師が使う用語とカルテ記載を理解する	3	
			2 接骨院	接骨院でよく使う用語を理解する		
			3 その他の医療現場	よく使う医療用語の存在を理解する		
2	症状・主訴	主訴の定義を理解する	1 主訴とは	主訴の定義を理解する	3	
			2 自覚症状	自覚症状の定義、具体的な種類を理解する		
			3 他覚症状	他覚症状の定義、具体的な種類を理解する		
3	不定愁訴	不定愁訴の意味を理解する	1 症状と原因	症状と原因の因果関係を理解する	3	
			2 原因と治療法	原因から考える治療法について理解する		
			3 不定愁訴	不定愁訴の定義と症状を理解する		
4	拘縮・萎縮	拘縮と萎縮、それぞれを理解する	1 拘縮	拘縮の種類と内容を理解する	3	
			2 萎縮	萎縮の種類と内容を理解する		
			3 肥大	肥大の種類と内容を理解する		
5	既往歴	既往歴との因果関係を理解する	1 既往歴について	既往歴の内容を理解する	3	
			2 既往歴の必要性	既往歴を聞く意義を理解する		
			3 治療法、期間	既往歴と治療法、期間の因果関係を理解する		
6	解剖学用語	解剖学の独特の単語を読み、書けるようにする	1 解剖学の読み	解剖学用語を具体的に読んでみる	3	
			2 解剖学の書き	解剖学用語を具体的に書いてみる		
			3 難しい用語	難しい解剖学用語を覚える		
7	解剖学用語	解剖学の独特の単語の意味を理解する	1 解剖学用語の意味	解剖学用語の意味を考える	3	
			2 よく使う解剖学用語	よく使う解剖学用語を覚える		
			3 難しい用語	難しい解剖学用語を覚える		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 医療従事者について	医療従事者の職域を理解する	3	
			2 主訴について	主訴の定義、症状との違いを理解する		
			3 医療面談について	医療面談の重要性を理解する		
9	消化器・呼吸器	消化器系、呼吸器系それぞれの臓器を理解する	1 呼吸器の名称	呼吸器の臓器の名称を覚える	3	
			2 消化器の名称	消化器の臓器の名称を覚える		
			3 よく聞く疾患について	よく聞く疾患の症状を理解する		
10	循環器系	循環器系の流れを理解する	1 循環器の名称	循環器の臓器の名称を覚える	3	
			2 心臓疾患について	心臓疾患の症状を理解する		
			3 高血圧症について	高血圧症の特徴を理解する		
11	外形	視診の重要性を理解する	1 視診とは	視診について理解する	3	
			2 視診で分かる情報	視診で分かる具体的な情報を理解する		
			3 重要性について	視診の重要性を理解する		
12	脱水	身体と水分の関係を理解する	1 身体の水分について	身体の水分量を理解する	3	
			2 脱水症状について	脱水症状と危険性を理解する		
			3 熱中症について	熱中症の症状と危険性を理解する		
13	中毒・依存	中毒、薬物の使用方法を理解する	1 中毒とは	中毒症状と危険性を理解する	3	
			2 中毒の種類	中毒の種類と特徴を理解する		
			3 薬物使用について	薬物の乱用と弊害について理解する		
14	振り返り	前期8回～13回の講義の振り返り。	1 視診の重要性	接骨院での視診の重要性を理解する	3	
			2 異常呼吸について	異常呼吸の重篤化について理解する		
			3 難しい用語	難しい解剖学用語を覚える		
15	心肺蘇生法 輸液・輸血	心肺蘇生法の重要性を理解する	1 AEDについて	AEDの重要性、必要性を理解する	3	
			2 ABCについて	ABCの内容、やり方を理解する		
			3 重要性について	救急救命法について理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等